

69号に引き続き、今号では、現学芸員内海美佳が明野歴史民俗資料館の歴史を振り返ります。

平成18年12月、まだ大学院在学中に、学生生活を送っていた茨城県より山梨県にやってきました。人としても学芸員としても大変未熟でしたが、たくさんの方々から助けをいただきながら、学芸員として働いて参りました。

農村における民俗とは、農業や農の暦と切っても切り離せないものです。いくら民俗学を学んできたとはいえ、地域の皆さんにとっては当たり前なのが、東京の下町に生まれ育ち、農業とは無縁の生活をしてきた私にとっては馴染みが無く、面食らってしまうこともしばしばでした。そのような時、いつも助けて下さったのが会員や郷土研究部の皆様でした。ご自宅にお招きいただいたり、資料館にご来館いただいってお話を聞かせていただきました(農の恵みである、お米や野菜もどっさりいただきました)。

資料館での仕事の思い出を2つ。

1つ目は、着任1週間後のこと。明野小学校より、6年生の授業で第二次世界大戦について資料を使って話をしてほしい、と依頼がありました。働き始めてから、たったの数日。どのような資料が収蔵庫にあるかも分からない状態で、私に務まるか不安でしたが、解説準備のために千人針に触れていた時、その千人針やそれを所持していた人がぐり抜けてきた歴史を想い、ポロポロと涙がこぼれてきました。そして、資料館の資料ひとつひとつに、誰かが暮らすのために使った歴史があり、それを地域の皆さんに伝えるのが私の役目だと、気を引き締めました。



明野小学校6年生 授業の様子



第14回企画展「食の歳時記」ハンズオン展示



第15回企画展「装いの民俗」内海学芸員案内の様子



第8回企画展「明野・山梨・そして全国の茅葺き」

2つ目は、最初の企画展「明野・山梨・そして全国の茅葺き」です。初めての企画展作りで、何から手をつけていいかも分からず、回りに迷惑をかけながらの開催でしたが、「企画展を観に来ました」という来館者の言葉が本当に嬉しかったことを覚えています。その後も何度も聞くことができたこの言葉は、その度に新鮮に私の耳に響きました。

これら、着任して日が浅い時期に得た経験が、明野での学芸員生活の励み、礎いしずえとなりました。

資料館の隣に小さな畑があり、こども達と一緒に昔ながらの農法で野菜を作ってきました。収穫間近の作物を見て、畑作りを手伝って下さった方が言った「充実」という言葉。それまで、「充実」という言葉が、作物の「実」が「充ちる」ことからきているのだと気付いていませんでした。明野で過ごした4年4ヶ月は、まさに充実した日々でした。



資料館の畑 収穫祭の様子

地域の歴史文化の保全・伝承に貢献できたのか、自信はありませんが、支えて下さった多くの皆さんへの感謝を胸に、明野で学んだことや得た経験を活かして、今後ますます精進したいと思います。ありがとうございました。

内海美佳

これからの茅ヶ岳歴史文化研究所

会員10名で構成される特定非営利活動法人茅ヶ岳歴史文化研究所運営検討委員会(平成23年3月31日をもって解散)にて検討を重ねていき、平成23年度以降の法人運営について以下の通り決定しました。

○かやぶんかわら版発行

毎月発行から、年2回発行に変更



○緊急雇用創出事業受託(予定)

平成21・22年度に引き続き、緊急雇用創出事業「遺跡出土品整理作業」の委託を北杜市より受けます。



○こども神楽伝習事業

平成15年度より毎年開催している「こども神楽教室」を今後も継続して開催します。



○伝統文化体験教室事業

放課後及び土日祝日に毎月5回程度開催してきた「ドキドキ!!まいぶんシリーズ」は、形を変えて、年4回程度開催します。



○八代家住宅活用事業

平成20年度より実施してきた八代家住宅活用事業は、平成23年度以降も不定期に開催いたします。開催にあたっては「八代家住宅サポーターズ」の協力を得ます。



各事業責任者には理事が就き、これまでと変わらぬ活発な活動を行っていきます。指定管理終了にともない、現事務局の体制が変化する今こそ、会員の皆さん、ひとりひとりの力が必要な時です。

事業実施や法人運営、かやぶんかわら版発行やブログ更新など、かやぶんのお仕事は様々あります。ぜひ、ご自分にあった活動の仕方を見つけてください。

＝理事長のこぼ＝

私たちのNPOは神楽教室・体験学習・八代家住宅を活用しての催しなど、大人やこどもを対象にした諸行事を実施して、高い評価をいただけてきました。

これも優れた企画力と実行力を備えた事務局の力に負う所が多かったと思います。しかし、4月からは事務局は不在となり、その活動に未知と不安な面が感じられます。

しかし、私たちのNPOは優れた才能・能力を持った会員が多くいることを心強く思っています。どうか平成23年度の運営方針をご覧の上、自分の力を発揮出来るような分野でのご協力をお願いしたいと思います。お申し出をお待ちしています。ご意見でも結構です。

理事長 深沢守雄

＝会員募集＝

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

こんなことをやってみたい人は、ぜひ!

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金:1000円 年会費:1000円

＝編集後記＝

振り返ると、かやぶんかわら版21号に、新学芸員着任という記事が載っていました。そして、第70号で卒業です。びっくり50号、楽しく記事を書かせていただきました。読んでいただいた方からの「頑張ってるね」という励ましや、「おもしろかったよ」という感想が本当に嬉しかったです。(内海)

私がここに来た年は、明野村歴史民俗資料館の開館準備をしているころでした。前号の資料館開館時のスタッフ集合写真にも載っている通り、資料館と共に歩んできました。事務の仕事は右も左もわからない状況でのスタートになりましたが、毎日来館する子供たちの笑顔に支えられた毎日でした。皆さんありがとうございました。(皆川)

住友学芸員の頃から、かやぶんのイベントのお手伝いをしたり、かわら版の発行に携わったりと微力ながら関わらせていただきました。かやぶんを通じて、地元民ながらも知らず知らずのうちに行事や風習などをいろいろと勉強させていただきました。お世話になった方々、ありがとうございました。(筒井)

かやぶんかわら版 第70号

平成23年3月25日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所(かやぶん)

〒408-0204 北杜市明野町上手8310
明野歴史民俗資料館内

TEL/FAX 0551-25-2019
ウェブサイト <http://www.kaya-net.jp>
E-mailアドレス info@kaya-net.jp

※上記の住所及び連絡先が使用できるのは平成23年3月までです。以降のご連絡は下記の連絡先へお願いいたします。

TEL 0551-20-2051
ウェブサイト <http://kayabun.web.fc2.com/>
E-mailアドレス kayabun@hotmail.co.jp